



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月31日

上場会社名 朝日放送株式会社 上場取引所 大  
 コード番号 9405 URL http://asahi.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)脇阪 聡史  
 問合せ先責任者 (役職名)経理局長 (氏名)角田 正人 TEL 06-6458-5321  
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月8日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	59,145	1.6	4,357	35.2	4,452	29.4	2,037	73.5
24年3月期第3四半期	58,221	0.6	3,222	31.4	3,439	32.7	1,174	△20.5

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 2,101百万円(62.0%) 24年3月期第3四半期 1,297百万円(△9.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
25年3月期第3四半期	円 銭 49.89	円 銭 —
24年3月期第3四半期	円 銭 28.75	円 銭 —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
25年3月期第3四半期	百万円 90,578	百万円 58,570	% 60.7
24年3月期	百万円 94,621	百万円 56,898	% 56.5

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 54,982百万円 24年3月期 53,465百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
24年3月期	円 銭 —	円 銭 4.50	円 銭 —	円 銭 4.50	円 銭 9.00
25年3月期	円 銭 —	円 銭 4.50	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —
25年3月期(予想)	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 4.50	円 銭 9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
通期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	78,900	0.9	5,900	33.9	6,000	29.4	3,000	422.3	73.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規—社(社名)—、除外—社(社名)—

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	41,833,000株	24年3月期	41,833,000株
25年3月期3Q	996,087株	24年3月期	996,087株
25年3月期3Q	40,836,913株	24年3月期3Q	40,836,913株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(参考) 平成25年3月期の個別業績予想 (平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	64,800	0.6	4,400	47.1	4,500	46.0	2,500	—	61.22

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 有

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
（1）連結経営成績に関する定性的情報	2
（2）連結財政状態に関する定性的情報	3
（3）連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
（1）四半期連結貸借対照表	4
（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
（3）継続企業の前提に関する注記	8
（4）セグメント情報等	8
（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
（6）重要な後発事象	8
4. (参考) 四半期財務諸表(個別)の概要	9
（1）個別経営成績	9
（2）個別財政状態	9
（3）個別売上高の内訳	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(平成24年4月1日から、平成24年12月31日まで)の日本経済は、震災からの復興需要等を背景に緩やかに回復しつつありましたが、欧州での金融危機や中国での経済成長の停滞、円高の長期化などで、低調に推移しました。年末に政権交代が実現し、景気回復への期待感から株価の上昇や為替の円安化が進みましたが、依然として景気の先行きは不透明な状況にあります。このような経済環境のなか、当社グループにおきましては、好調な視聴率を背景に、売上高が前年同期の実績を上回りました。

当社グループが主力事業を展開する放送事業においては、期間の当初から順調に推移していたテレビスポット収入が累計で増収となり、放送事業は増収増益となりました。ハウジング事業においても新規会場のオープンなどにより、増収増益となりました。ゴルフ事業においては、減収となりましたが費用も減少した結果、わずかながら増益となりました。以上の結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は591億4千5百万円となり、前年同期に比べて9億2千4百万円(1.6%)の増収となりました。

費用面では、売上原価が375億6千4百万円で、前年同期に比べて5億8千2百万円(1.5%)減少しました。販売費及び一般管理費は172億2千3百万円となり、3億7千1百万円(2.2%)増加しました。以上の結果、営業利益は43億5千7百万円となり、前年同期に比べて11億3千4百万円(35.2%)の増益、経常利益は44億5千2百万円で、10億1千2百万円(29.4%)の増益となりました。特別損失として投資有価証券の評価損や法人税等を差し引いた結果、四半期純利益は20億3千7百万円となり、8億6千3百万円(73.5%)の増益となりました。

セグメントごとの業績は、以下のとおりです。

## [放送事業]

当第3四半期連結累計期間における放送事業の売上高は516億1千5百万円となり、前年同期に比べ6億3千3百万円(1.2%)の増収となりました。当社は、年間視聴率が、全日・ゴールデン・プライム・プライム2の全ての時間帯で首位となり、開局以来初めてとなる四冠を達成しました。主力のテレビスポット収入は、前年同期に比べ累計で3.8%の増収となりました。

一方、営業費用は、テレビスポット収入の増収に伴いテレビ代理店手数料などが増加しましたが、前年の創立60周年記念ドラマがなかったことにより番組費などが減少し、営業費用は前年同期に比べて0.8%減少しました。この結果、営業利益は33億9千万円となり、9億9千4百万円(41.5%)の増益となりました。

## [ハウジング事業]

ハウジング事業の売上高は68億5千3百万円となり、前年同期に比べ2億9千8百万円(4.6%)の増収となりました。主力事業の住宅展示場運営において空区画への新規出展誘致や新しく展示場がオープンしたことなどにより増収となりました。売上の増加に伴い営業費用も2.7%増えましたが、営業利益は9億1千5百万円となり、1億3千8百万(17.9%)の増益となりました。

## [ゴルフ事業]

ゴルフ事業の売上高は6億7千6百万円となり、前年同期に比べ7百万円(1.1%)の減収となりました。名義書換料の減少が主な要因です。営業費用は1.2%減少しましたので、営業利益は5千2百万円となり、1百万円(2.2%)の増益となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べ39億1千3百万円減少して308億8千6百万円となり、固定資産は1億2千9百万円減少して596億9千1百万円となりました。資産合計は40億4千3百万円減少して905億7千8百万円となりました。

1年以内返済予定の長期借入金20億円を返済したことなどにより現金及び預金が減少し、流動資産は減少しました。また、ザ・シンフォニーホールの譲渡完了や減価償却の進行により固定資産も減少したため、資産全体として減少しました。

## (負債)

流動負債は50億5千6百万円減少して89億6千6百万円となり、固定負債は6億5千8百万円減少して230億4千2百万円となりました。負債合計は57億1千5百万円減少して320億8百万円となりました。流動負債が減少した主な理由は、現社屋建設時の借入金の残額を全て返済したことによるもので、固定負債の減少理由は、主にリース債務の返済を行ったことによるものです。

## (純資産)

純資産合計は16億7千1百万円増加して585億7千万円となりました。四半期純利益20億3千7百万円を計上する一方、剰余金の配当3億6千7百万円を行いました。また、保有する投資有価証券の時価が下落したため、その他有価証券評価差額金が減少しました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社の主力である放送事業は、第3四半期において当社発ネット番組の放送時間数が当初の予定よりも減少し、テレビスポット収入も前回の予想を下回ったことから、個別の通期の業績につきまして、前回発表予想から売上高を下方修正しております。一方、当社発ネット番組の放送時間数の減少により番組費などが減少したことや、第4四半期において比較的利益率の高いテレビスポット収入が前年を上回る水準で推移することが見込まれることから、営業利益、経常利益を上方修正しております。また、第3四半期において投資有価証券評価損を計上したため当期純利益については下方修正しております。

連結につきましても、個別の要因により売上高、当期純利益を下方修正、営業利益、経常利益を上方修正しております。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

連結会社の一部は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。これによる影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,595	6,566
受取手形及び売掛金	12,439	12,802
有価証券	9,808	8,499
たな卸資産	1,080	798
その他	2,885	2,229
貸倒引当金	△8	△9
流動資産合計	34,800	30,886
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	21,658	21,408
土地	10,238	10,252
その他（純額）	8,551	7,154
有形固定資産合計	40,448	38,816
無形固定資産		
のれん	33	8
その他	805	601
無形固定資産合計	838	609
投資その他の資産		
投資有価証券	11,672	13,363
その他	7,113	7,158
貸倒引当金	△251	△255
投資その他の資産合計	18,534	20,266
固定資産合計	59,821	59,691
資産合計	94,621	90,578

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	2,010	—
未払金	6,313	5,372
未払法人税等	1,655	222
引当金	120	433
その他	3,924	2,937
流動負債合計	14,023	8,966
固定負債		
退職給付引当金	11,040	11,132
引当金	106	88
その他	12,553	11,821
固定負債合計	23,700	23,042
負債合計	37,723	32,008
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,299	5,299
資本剰余金	3,610	3,610
利益剰余金	44,408	46,077
自己株式	△500	△500
株主資本合計	52,817	54,487
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	648	495
その他の包括利益累計額合計	648	495
少数株主持分	3,432	3,587
純資産合計	56,898	58,570
負債純資産合計	94,621	90,578

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	58,221	59,145
売上原価	38,146	37,564
売上総利益	20,074	21,580
販売費及び一般管理費	16,851	17,223
営業利益	3,222	4,357
営業外収益		
受取利息	24	25
受取配当金	118	116
負ののれん償却額	128	—
その他	93	97
営業外収益合計	365	239
営業外費用		
支払利息	124	102
固定資産処分損	9	26
その他	13	15
営業外費用合計	147	144
経常利益	3,439	4,452
特別損失		
投資有価証券評価損	—	386
特別損失合計	—	386
税金等調整前四半期純利益	3,439	4,065
法人税等	2,079	1,810
少数株主損益調整前四半期純利益	1,360	2,254
少数株主利益	186	217
四半期純利益	1,174	2,037

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,360	2,254
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△63	△152
その他の包括利益合計	△63	△152
四半期包括利益	1,297	2,101
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,110	1,884
少数株主に係る四半期包括利益	186	217

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報等

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	放送事業	ハウジング 事業	ゴルフ事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	50,981	6,555	684	58,221	—	58,221
セグメント間の 内部売上高又は振替高	314	16	40	371	△371	—
計	51,296	6,571	724	58,592	△371	58,221
セグメント利益	2,395	776	50	3,222	—	3,222

(注) 1 調整額△371百万円は、セグメント間の取引消去金額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	放送事業	ハウジング 事業	ゴルフ事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	51,615	6,853	676	59,145	—	59,145
セグメント間の 内部売上高又は振替高	290	14	41	346	△346	—
計	51,905	6,868	718	59,492	△346	59,145
セグメント利益	3,390	915	52	4,357	—	4,357

(注) 1 調整額△346百万円は、セグメント間の取引消去金額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## (6) 重要な後発事象

該当事項はありません。

## 4.（参考）四半期財務諸表（個別）の概要

平成25年3月期第3四半期の個別業績（自平成24年4月1日至平成24年12月31日）

## (1) 個別経営成績

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期 第3四半期	48,396	1.5	3,179	49.9	3,354	49.4	1,655	133.7
24年3月期 第3四半期	47,689	△0.5	2,121	35.1	2,245	40.9	708	△35.9

## (2) 個別財政状態

	総資産	純資産
	百万円	百万円
25年3月期 第3四半期	72,151	51,140
24年3月期	76,757	50,010

## (3) 個別売上高の内訳

	前第3四半期 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	増減	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
テレビ放送事業収入				
タイム	9,177	9,145	△32	△0.4
スポット	25,490	26,452	961	3.8
番組収入	8,096	7,950	△145	△1.8
計	42,764	43,547	783	1.8
ラジオ放送事業収入				
タイム	1,042	1,019	△22	△2.2
スポット	960	883	△77	△8.0
番組収入	217	216	△0	△0.4
計	2,220	2,119	△100	△4.5
その他	2,704	2,729	24	0.9
合計	47,689	48,396	706	1.5

(注) 四半期財務諸表（個別）の概要の数値につきましては、法定開示におけるレビュー対象ではありません。